

アドバンスデッキ3

ADVANCE DECK3

オーロラデッキ2

AURORA DECK2

標準施工要領書



施工者様へ

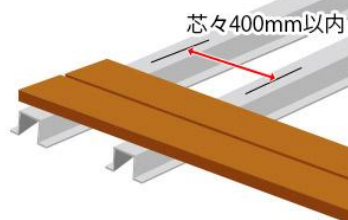


必ずお読みください

※本文中の内容を守らず施工し、不具合が発生した場合は、弊社は一切の保証を致しかねます。

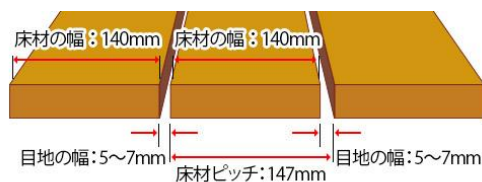
①寸法注意事項

根太ピッチ



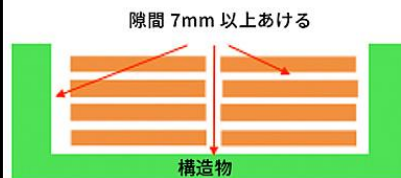
芯々400mm以内

床板(幅方向)の隙間



5~7mm推奨

長手方向 及び 建物や壁等との隙間



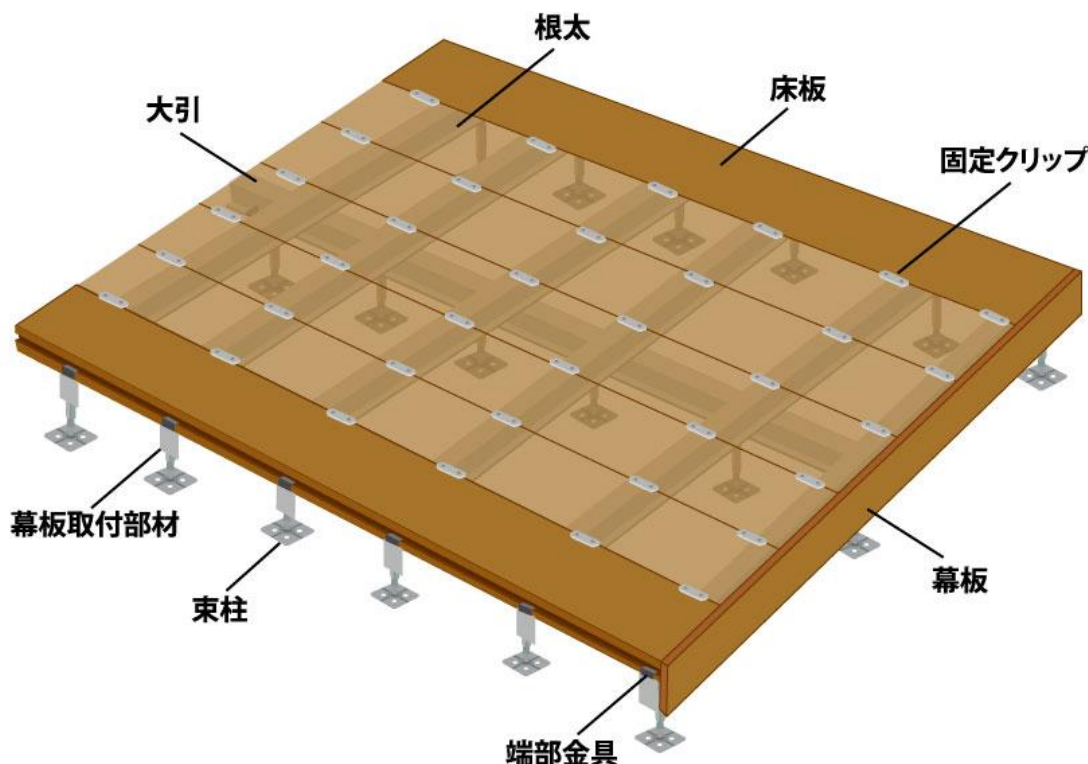
7~10mm推奨

②各部品について

アドバンスデッキ3、オーロラデッキ2は、十分な強度を持った鋼製(亜鉛メッキ鋼板)、樹脂製、アルミ製、木材などの下地に施工して下さい。

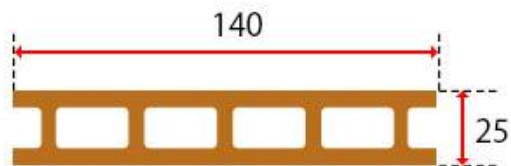
設定仕様以外の下地による施工につきましては、当社法人営業部までお問合せ下さい。

部材構成図



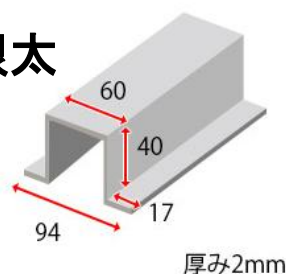
③使用部材

床板



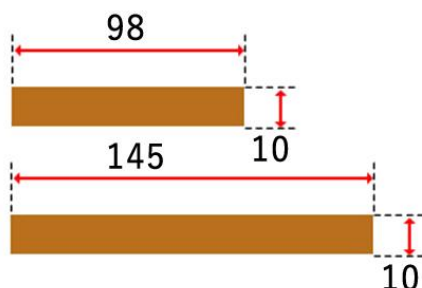
H25 × W140 × L2000mm
仕様: 中空、片面リブ加工

大引・根太



- ・アルミハット型鋼
H40 × W60 (94) × L2000mm
H40 × W60 (94) × L3000mm
- ・鋼製ハット(ZAM)
H40 × W60 (90) × L2400mm
H40 × W60 (90) × L3000mm

幕板



H10 × W98 × L2000mm
H10 × W145 × L2000mm

仕様: 無垢

鋼製束(L型、T型)



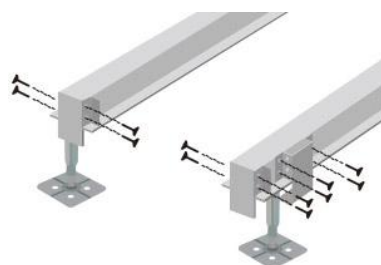
- ・高さ: H=93~700mm
仕様: 金属製(亜鉛メッキ)

プラスチック束(マルチポスト)



- ・高さ: H=15~725mm
仕様: 樹脂製

幕板取付部材



L=70mm (98mm 1段用) L=159mm (98mm 2段用) L=105mm (145mm 1段用) L=255mm (145mm 2段用)



※幕板を固定する際に使用する部材です。

■留め具について

※木根太か鋼製根太かにより固定ビスが変わります。下地に合わせてご選択ください。

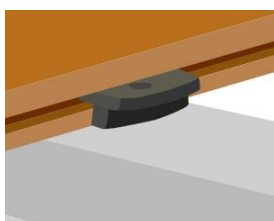
木根太

床板の固定用

【コスト優先の方向け】

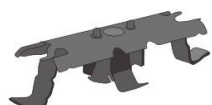
① 固定クリップ50個入り（色：ブラック/ブラウン）

付属ビス無し/頭径6.0mm未満のネジ推奨



【施工スピード優先の方向け】

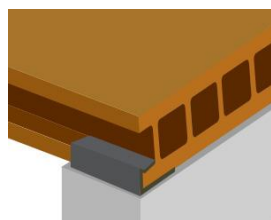
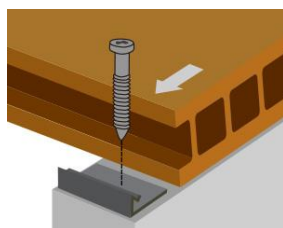
② デッキロック 100個入り（ビス別売）



【別売ビス】
木下地用ビス(ブロンズ)
3.6×50mm

端部固定用

端部金具/25個入り



サイズ

・端部金具

高さ： 約10mm×幅25mm×長さ29mm
丸穴直径: 上部 約6mm/下部 約4mm

・木ビス 4.0×25mm (25個/袋)

頭径: 6mm

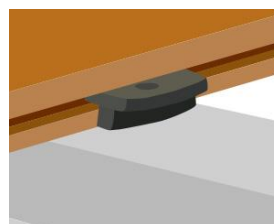
鋼製根太

床板の固定用

【コスト優先の方向け】

① 固定クリップ50個入り（色：ブラック/ブラウン）

付属ビス無し/頭径6.0mm未満のネジ推奨



【施工スピード優先の方向け】

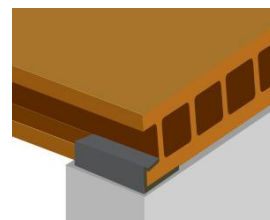
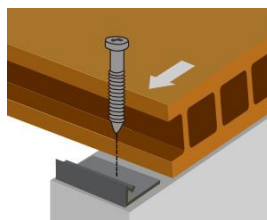
② デッキロック（鋼製ビスセット）



【 50個、100個入りあり 】

端部固定用

端部金具/25個入り



サイズ

・端部金具

高さ： 約10mm×幅25mm×長さ29mm
丸穴直径: 上部 約6mm/下部 約4mm

・ドリルビス 4.0×25mm (25個/袋)

頭径: 6mm

④施工要領

アドバンスデッキ3 / オーロラデッキ2 共通施工要領 【設定仕様：シングル工法】鋼製束 + アルミ根太 + 固定クリップ

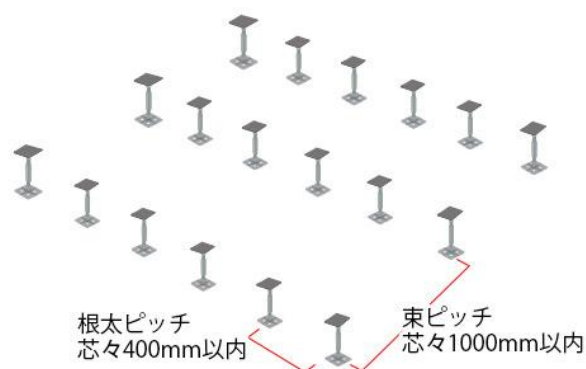
施工手順

①下地：鋼製束の設置

鋼製束をコンクリートビスで固定して下さい。

支持脚の間隔は根太方向に対して芯々1,000mm以内、直交方向は芯々400mm以内の間隔で設置して下さい。

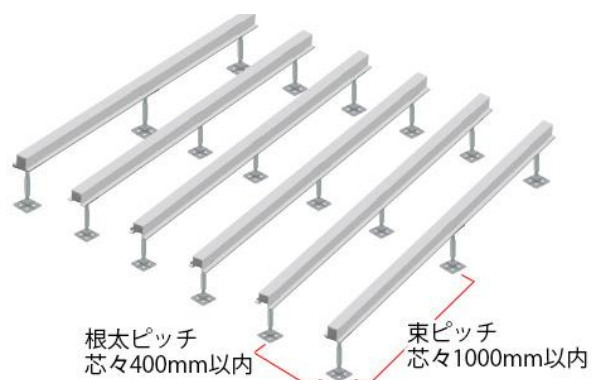
※ビス止め前に接着剤で鋼製束を固定することを推奨いたします。
※FRPバルコニーの場合は600mm以下を推奨いたします。



②下地：根太の設置

根太をドリルビスで鋼製束に固定して下さい。
(根太ピッチ：芯々400mm以内)

※長手方向のジョイント部は5mm程度の目地を取って下さい。
※根太の跳ねだしは大引の中心から150mm以内として下さい。
※壁際や建物が近い場合などには、根太端部を10mm程離して設置して下さい。

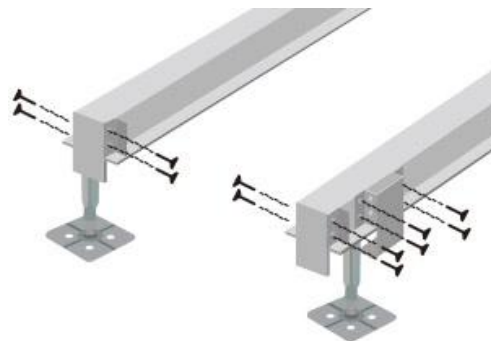


③下地：幕板取付部材の設置(幕板を取り付ける場合)

幕板を取付ける予定の面に幕板取付部材をドリルビスで固定して下さい。

根太に対し幕板が直交する面は各根太の端部に、平行する面は400mm以内の間隔で設置して下さい。

※98mm、145mmそれぞれ長さの異なる幕板取付部材がございます。
※幕板1段用、2段用タイプがございます。



アドバンスデッキ3 / オーロラデッキ2 共通施工要領

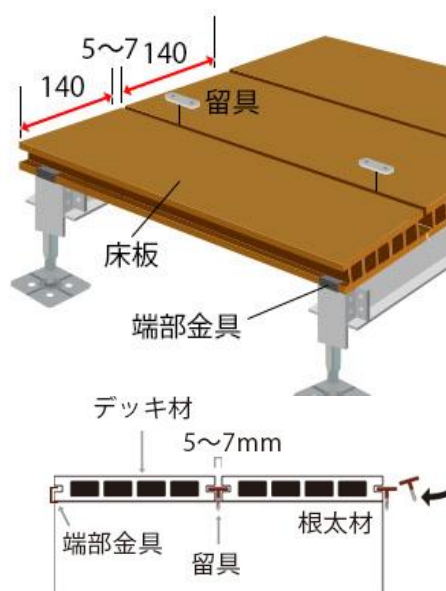
【設定仕様：シングル工法】鋼製束 + アルミ根太 + 固定クリップ

④床板の設置

床板をドリルビスと専用留具（固定クリップ）で根太に固定して下さい。

デッキの貼りはじめ、貼り終わりは端部固定金具を使用し、目地部に固定クリップを使用して下さい。

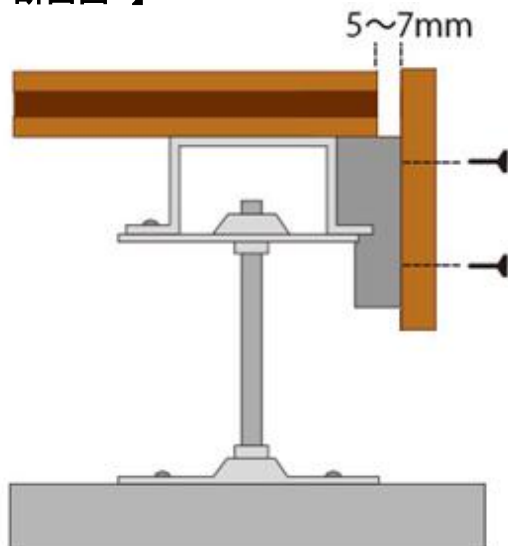
※床板の跳ねだしは、根太中心から75mm以内として下さい。
※短手・長手方向共に、5～7mmの間隔を開けて設置する必要があります。



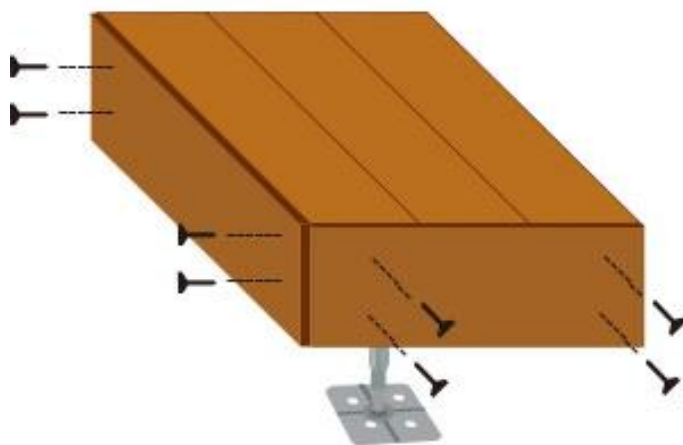
⑤幕板の設置

幕板をドリルビスで幕板取付部材に固定して施工完了です。

【 断面図 】



【 全体図 】

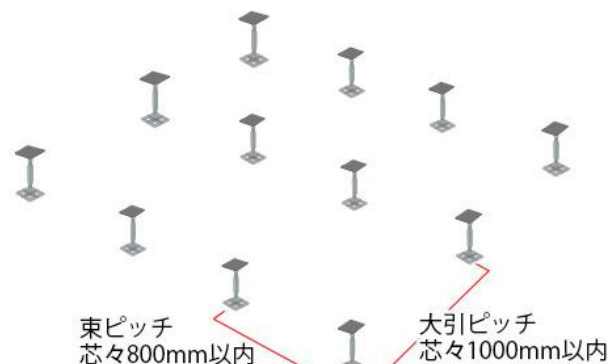


施工手順

①下地: 鋼製束の設置

鋼製束をコンクリートビスで固定して下さい。
支持脚の間隔は大引と平行方向は芯々800mm以内、直交方向は芯々1,000mm以内の間隔で設置して下さい。

※ビス止め前に接着剤で鋼製束を固定することを推奨致します。

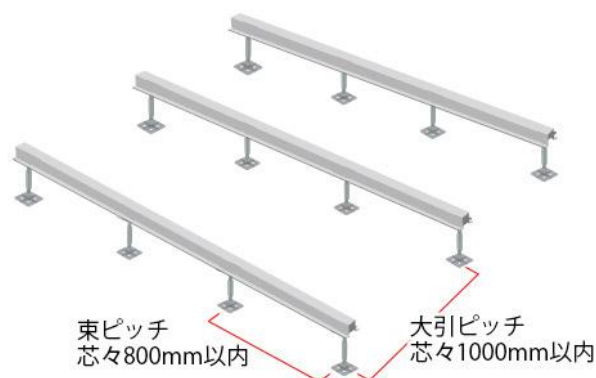


②下地: 大引の設置

大引をドリルビスで鋼製束に固定して下さい。
(大引ピッチ: 芯々1,000mm以内)

※大引の跳ねだしは鋼製束の中心から150mm以内として下さい。

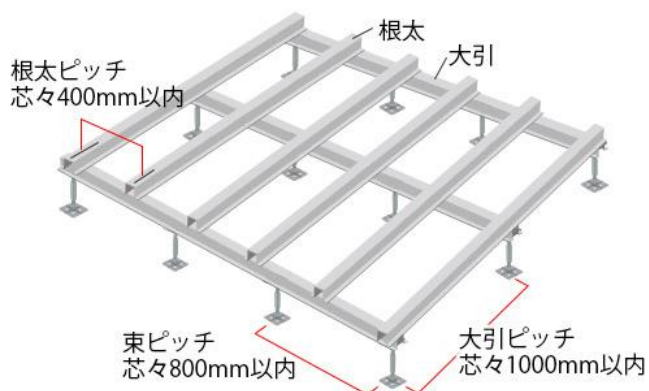
※壁際や建物が近い場合などには、根太端部を10mm程度離して設置して下さい。



③下地: 根太の設置

根太をドリルビスで大引に固定して下さい。
(根太ピッチ: 芯々400mm以内)

※壁際や建物が近い場合などには、根太端部を10mm程度離して設置して下さい。



アドバンスデッキ3 / オーロラデッキ2 共通施工要領

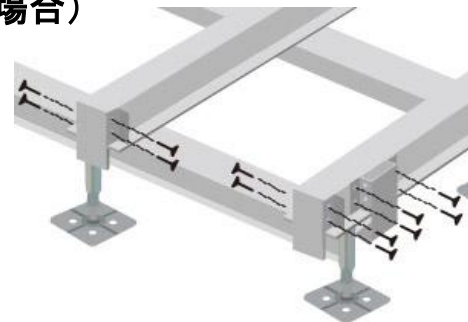
【設定仕様：クロス工法】 鋼製束 + アルミ根太 + 固定クリップ

④下地：幕板取付部材の設置(幕板を取り付ける場合)

幕板を取付ける予定の面に幕板取付部材をドリルビスで固定して下さい。

根太に対し幕板が直交する面は各根太の端部に、平行する面は400mm以内の間隔で設置して下さい。

※幕板取付部材は、大引ではなく根太に取り付けて下さい。

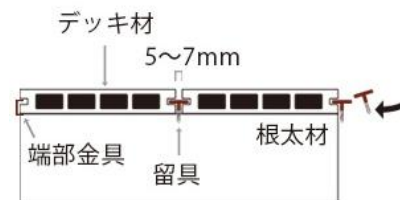
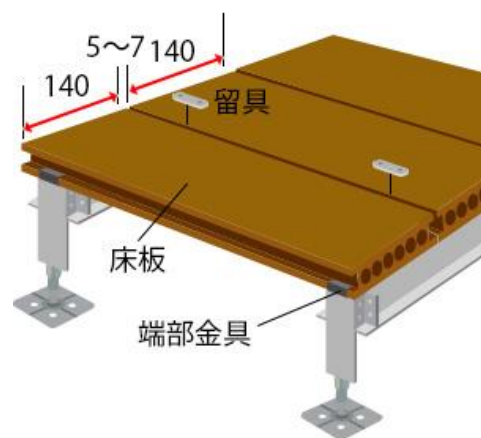


⑤床板の設置

床板をドリルビスと専用留具(固定クリップ)で根太に固定して下さい。

デッキの貼りはじめ、貼り終わりは端部固定金具を使用し、目地部に固定クリップを使用して下さい。

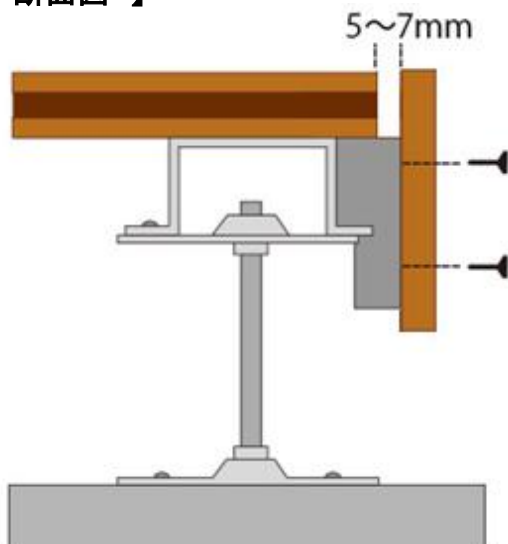
※床板の跳ねだしは、根太中心から75mm以内として下さい。
※短手・長手方向共に、5～7mmの間隔を開けて設置する必要があります。



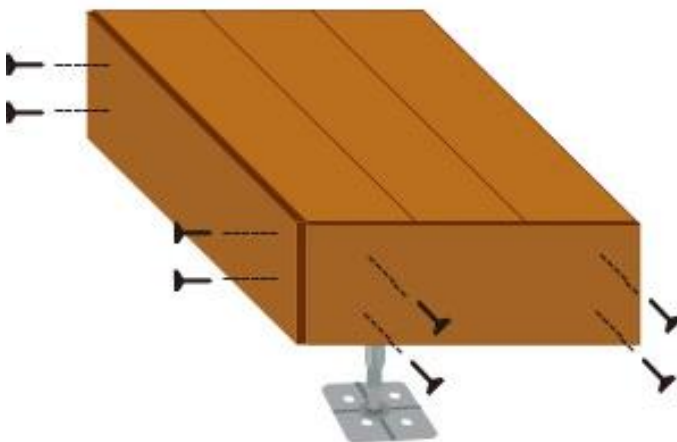
⑥幕板の設置

幕板をドリルビスで幕板取付部材に固定して施工完了です。

【 断面図 】



【 全体図 】



⑤施工上の注意点

知っておいて頂きたい事

◆天然木材のような、バラつきがあります

リサイクル材料から生産されている為、生産ロットによって多少色のバラつきがございますが、使用に問題はございません。

◆施工時の下穴加工がお勧めです

中空部材は割れ防止の観点から下穴を開けてのビス止めが必要です。
一手間ですがよりよい施工のためにご理解をお願いいたします。

◆素材の伸縮があります

天然木材＋樹脂という素材の特性上、収縮が発生します。
施工時はクリアランスに余裕を持って施工することが重要です。
特にデッキ材同士の突きつけ、建物本体との接合部には細心の注意が必要です。

◆暑い日は注意しましょう

直射日光により表面温度が高温になります。
火傷する可能性がありますので十分ご注意ください。

注意して頂きたい事

◆火気厳禁！

ウッドデッキは火気厳禁です。変形等の可能性もあるので、可燃性のものはウッドデッキの近くで使わないように気を付けてください。

◆金属類を放置しない！

ウッドデッキの上に直接金属類を置いてしまうと、シミや変色の原因になることがあります。
飲み終わったジュースの空き缶などは早めに片付けましょう。

◆外的要因によるカビに注意！

掃除をせず放置しておくと、汚れが付いたり苔やカビが発生したりすることがあります。
プランターや椅子・テーブル等を置きっぱなしにすると、汚れが付着しやすくなります。
落としづらい汚れになる前に、定期的に物を移動し、定期的な掃除をしておきましょう。

⑥お手入れ方法

長く美しい状態でお使いいただくため、
1～2ヶ月に1度のお手入れをお勧めしております。

日々の簡単お手入れ

表面の汚れが残ったままにならないように、ホコリやゴミをホウキで掃き出し、長手方向に沿って雑巾やスポンジで水洗いして下さい。

最後にきれいな水を含ませたデッキブラシで表面をブラシ掛けし、乾いた雑巾でよくふき取して下さい。



シミなどの汚れのお手入れ

シミなどの汚れがある場合は、日々のお手入れに加え、中性洗剤を利用して掃除して下さい。

ブラシ掛けの際、薄めた中性洗剤を含ませ、長手方向に沿ってこすって下さい。洗剤が残らないように水でしっかりと洗い流し、乾いた雑巾でふき取して下さい。



カビが生えた時のお手入れ

ウッドデッキは、屋外に設置する商品のため雨の影響を受けます。さらに屋外にはカビ菌などが浮遊しており、埃やゴミ等の付着や雨の湿気と相まってカビを発生させることもあります。

その場合は、薄めた次亜塩素酸系漂白剤などのカビ除去剤を使用し、デッキブラシで軽くブラシ掛けをして下さい。普段のお手入れ同様にお手入れをお勧めしております。



<ご注意>

・漂白剤使用後は長時間 放置せずに十分水で洗い流して下さい。

⑦施工参考例

